

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本電気株式会社（証券コード: 6701）

【変更】

長期発行体格付
格付の見通し

A + → A A -
安定的

■格付事由

- (1) システム・インテグレーション（SI）、保守、サービスといった IT サービスが事業の中核。顔認証、虹彩認証、指紋認証などで世界トップレベルの技術を有する。また、ネットワークインフラや防衛領域におけるシステム機器、SI、保守なども手掛ける。売上の国内依存度が高いものの、優良かつ安定的な顧客基盤を構築している。2025 中期経営計画では成長事業とベース事業の両輪で収益成長を目指しており、デジタルガバメント/ファイナンス（DG/DF）、グローバル 5G、コア DX を成長事業として位置付けている。また、防衛力整備計画による政府防衛予算の増加を背景に、防衛領域における事業成長が足元で進んでいる。
- (2) 収益性の向上を含め、業績の定量水準の引き上げがスピード感をもって進んでいる。国内 IT サービスは DX などの潮流を追い風に事業環境が総じて良好であり、当社の業績も好調である。SI モデル変革をはじめ収益性向上に向けた取り組みも奏功している。また、防衛領域における受注水準が高まっており、同領域の業績も拡大の方向にある。加えて、全社ベースでの低収益事業のてこ入れも順次進んでいる。財務基盤の強化も実態的に進む方向にある。以上を勘案し、格付を 1 ノッチ引き上げた。格付の見通しは安定的である。
- (3) 25/3 期営業利益（IFRS）は 2,564 億円（前期比 36.4%増）と 3 期連続の増益となり、増益基調が強まった。海洋システムで品質問題の解消に向けた費用計上などがあったものの、国内 IT サービスが全社業績をけん引。防衛領域の業績も伸長した。26/3 期も営業増益が計画されている。DG/DF を含めた IT サービスを中心に引き続き堅調な業績が想定されている。IT 投資の戦略的重要度の高まりから、米国関税政策による事業環境への影響は限定的とみている。
- (4) 25/3 期の営業キャッシュフローは 3,444 億円（前期は 2,712 億円）へ伸長した。子会社の NEC ネットズエスアイに対する TOB に伴うデットの増加や持分変動による資本剰余金の減少があったものの、利益剰余金の積み増しもあり良好な財務構成が維持された。25/3 期末の親会社所有者帰属持分比率は 45.2%（前期末 45.3%）、ネット DER は 0.04 倍（同 0.04 倍）とおおむね横ばいだった。M&A の実行を成長戦略の軸に据えているものの、キャッシュフロー創出力の高まりを含め、財務的な余力が一段と増したと評価している。

（担当）本西 明久・関口 博昭

■格付対象

発行体：日本電気株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 6 月 18 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「電機」(2024 年 2 月 8 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本電気株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル